

チーム身延中

令和6年度 身延中 学校だより
発行者:校長 渡邊 史

NO.3 令和6年6月12日

あじさいが美しく彩りを添える季節を迎えました。新校舎玄関にはツバメが巣作りを始めたか、廊下にはムカデが歩いていたりと、侵入者との戦いが繰り広げられています。5月はPTA総会や授業参観、家庭訪問、PTA役員会や理事会、町内一斉引き渡し訓練、また部活動の大会への応援等、保護者の皆様にはお忙しい中をたくさんのご協力をいただきありがとうございました。早いもので1学期も後半、6月はPTAの関係では学校開放3days や土曜日実施の授業参観(講演会・学級懇談会)を予定しております。新しい環境で、実施方法等で行き届かない点もあるかと思いますが、一つ一つの行事・取り組みを反省し、今後の活動にいかしていきたいと考えております。これからも学校・家庭が連携し、一緒に歩んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



令和6年度生徒会スローガン「新響」

5月27日(月)には、今年度第1回目の生徒総会が行われました。

議案書には、次のようなことが書かれていました。『「生徒会」とは、全校生徒の皆さんのことを指しています。つまり、生徒会活動の中心となって皆さんをリードしていくのは私たち生徒会執行部ですが、実際にこの身延中学校を動かしていく主人公は、ここにいる156名(現在は157名)の生徒会員の皆さん一人一人なのです。まずはその自覚、責任、そして身延中である誇りを持ってください。』

私は、昨年度に引き続き、全校生徒の「生徒会活動に対する思いや願いの方向性」について話しました。私たちは、一人一人が身延中や身延中生徒会に対する願いを持っており、各クラスや委員会・部活動においても、それぞれの目標や頑張りたいことがあるはずで、だから生徒会活動に求めることがズレていても当然です。でも、すべての人が目指している「その先にあるもの」はみんな一緒に、「よりよい身延中生徒会活動」のはずです。大切なことは、それぞれの思いや願いの方向性・ベクトルの向きを可能な限り一致させ、同じ方向を見て進むことです。そのために、執行部は「これまでの課題や自分たちの状況を分析し、必要なスローガン・行事・取り組みを提案すること」「企画・運営の中で適切な軌道修正を加えること」などが求められ、生徒会員の皆さんは「提案されたことを受け止め、理解し、意見をしっかりと伝え、執行部を助け、みんなで決めたことに前向きに参加すること」が大切だと思います。この生徒総会はその第一歩だったのです。

執行部からは、身延中新校舎で新章を開幕させ、心や思いを遠くまで届け、響かせたいという願いを元に、「新響」というスローガンとそれを達成するための重点目標が提案されました。全校からは「賛成意見」もたくさん出されましたが、「質問」や「要望意見」、「呼びかけ意見」が出された他、新校舎で初めて行われる輝桜祭の取り組みについて議論が交わされました。スローガンや具体的目標を具現化し、より実効的な取り組みを創り上げていくのはこれからです。執行部の願いと全生徒会員の思いを重ね、これからも同じ方向を見据えた生徒会活動が展開することを楽しみにしています。



各部の活躍

例年、峡南地区選手権大会が4月下旬に行われていましたが、今年度は一部を除いて廃止され、直接県の選手権大会となりました。4月20・21日(土・日)には野球・バレーボールの大会が支部予選会として行われました。5月18日(土)には陸上競技、25日(土)にはバドミントンの県選手権大会が行われました。

6月3日(月)には峡南地区総合体育大会を前に、全校生徒による「激励会」が開かれました。各部(野球部・男女テニス部・女子バレー部・男女バドミントン部・柔道部)からの決意表明の後、各部長による力強い選手宣誓が行われました。私は「果敢」という言葉を贈り、迷いなく大胆に挑むことで、悔いを残さない戦いにしてもらいたいと願いを伝えました。文化部による工夫を凝らした応援ポスター、執行部を中心に行われた力強い応援、吹奏楽部による息のそろうた激励演奏は選手の士気を高め、身延中生徒会の心の繋がりが温かさを感じました。



6月6・8日(木・土)の大会当日は、3年生の「最後」にける思いが伝わる熱戦が繰り広げられました。各部とも力の限りを尽くし、これまでの練習の成果や培ってきたチームワークを存分に発揮しました。思えば、3年生はこの大会のためにこれまでの努力を積み重ねてきたといっても過言ではありません。大会は必ず勝敗がつきます。県大会に繋がった部は「勝って得たこと・学んだこと」があったはずで、現チームでの残り少ない日々を大切に、7月の試合に向けてさらなる向上のために気を引き締めてもらいたいと思います。また、この大会で引退となった3年生は本当にお疲れ様でした。結果は残念だったけれど「負けなければ得られなかったこと」、「中学部活動で学んだこと」を考え、整理して、次の目標を見据えて切り替えてもらいたいと思います。後に続く1・2年生がきっと3年生の思いを引き継ぎ、今後の部活動を盛り上げてくれることと思います。また、激励会では運動部のために応援の曲を奏でた吹奏楽部は、7月20・21日(土・日)に開催される山梨県吹奏楽コンクールに向け日々猛練習中です。こちら



も楽しみにしています。応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

県選手権 男子バドミントン 個人戦 **ベスト8** 3年 長田晟空
 県陸上競技選手権 女子円盤投 **3位** 3年 小林結 (29m26)
 支部総体 男子バドミントン 個人戦 3年ダブルス **3位** 長田晟空・吉中彪流 ペア
 女子バドミントン 個人戦 3年ダブルス **3位** 佐野芳璃奈・竹ノ内梨桜 ペア
 2年シングルス **3位** 北條 凜 **3位** 小林 華
 男子テニス 個人戦 **ベスト16** 3年 依田晴貴・長田貴斗 ペア
 女子テニス 団体戦 **3位**
 個人戦 **ベスト8** 3年 青柳璃子・伊藤愛理 ペア
 個人戦 **ベスト16** 3年 林百花・小泉優芽 ペア 3年 氏原みのり・林咲良 ペア
 野球 Bパート決勝 VS南部中5-4 ● 県大会代表決定戦 VS増穂中1-2 ○
 バレーボール VS増穂中2-0● VS三珠中2-0●
 柔道 個人戦 **優勝** 2年 日吉虎千代 **準優勝** 1年 片田啓新



県選手権	男子バドミントン	個人戦	ベスト8	3年	長田晟空
県陸上競技選手権	女子円盤投		3位	3年	小林結 (29m26)
支部総体	男子バドミントン	個人戦	3年ダブルス	3位	長田晟空・吉中彪流 ペア
	女子バドミントン	個人戦	3年ダブルス	3位	佐野芳璃奈・竹ノ内梨桜 ペア
			2年シングルス	3位	北條 凜 3位 小林 華
	男子テニス	個人戦	ベスト16	3年	依田晴貴・長田貴斗 ペア
	女子テニス	団体戦	3位		
		個人戦	ベスト8	3年	青柳璃子・伊藤愛理 ペア
		個人戦	ベスト16	3年	林百花・小泉優芽 ペア
				3年	氏原みのり・林咲良 ペア
	野球	Bパート決勝	VS南部中5-4	●	県大会代表決定戦 VS増穂中1-2 ○
	バレーボール	VS増穂中	2-0	●	VS三珠中2-0●
	柔道	個人戦	優勝	2年	日吉虎千代 準優勝 1年 片田啓新